

## 地図帳で「バーチャル・トラベル!の世界」へ

熊本市立託麻南小学校 荒木逸治

### 1. はじめに

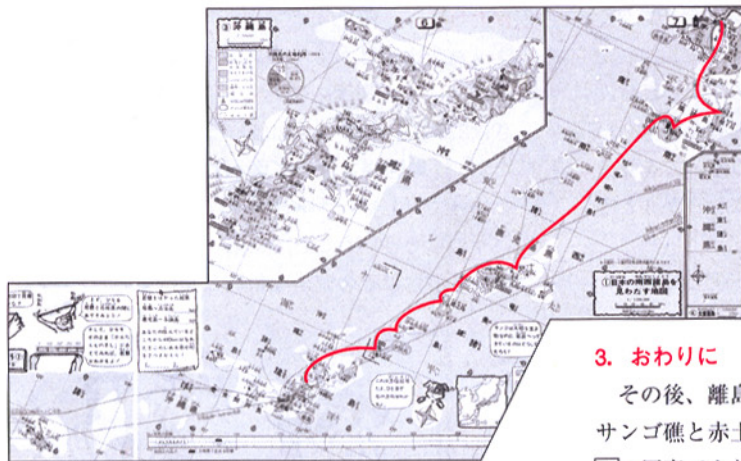
何と言っても、地図帳は、実際に行けない所に手軽に行ける身近な旅行ガイドである。

まず子どもたちに、「地図帳で、自分が住んでいる街を探してみよう」と言う。すると、熊本市を探す。そして、県庁所在地の◎を見つけ、熊本県の中心であることを確かめる。そうしたら、これからが、トラベラーズへ変身である。



それは、「どんな所へ」「何をしに行くのか」と、楽しい旅行のイメージをグループで相談させるのである。

例えば「今は夏で暑いから、もっと涼しい所へ行きたいな」という話しがでると、すぐに地図帳で涼しそうな地域を探してみる。



(帝国書院『小学校社会科地図帳(三訂版)』P.5~7)

「東北地方!」や「北海道!」、「高い山が多いアルプス山脈なんかもいい!」と言う話しが自然と広がるのも、いいものである。

### 2. 地図帳の中へ

そこで、ちょっと一言。「みんな、いきなりでかけたけど、お金あるの?」「あっ、忘れちゃった!」、さらに、「じゃ、もう一度、家に帰って、計画を立ててみよう」と、投げかけてみる。

「1週間の予定で、みんなで旅行をしてみよう」と言うのと、子どもたちにしかない、いろいろなトラベルアイデアがでてくるはずである。

例えば、「海へ行きたい」とか「山へでかけたい」、「遠く海外へでかけたい」などなど・・・

ここでは、船での沖縄への旅を紹介してみる。

九州自動車道を使って鹿児島へ行って、シラス台地の風景を見る。鹿児島港から種子島の宇宙センターを見た後、屋久島へ行って縄文杉を見る。そして、奄美諸島の島々を渡って沖縄本島へ。まず万座毛で海水浴をし、本部半島へでかけパイナップルを食べる。次に南へ行って首里城やひめゆりの塔を見学する。

と言うような楽しいバーチャル・トラベルの案がでてくる。

きれいな海で海水浴だ!



パイナップルが食べたい!

### 3. おわりに

その後、離島の石垣島へ行く。p.7にある石垣島のサンゴ礁と赤土の流出のようすの図を見た後、p.56④の写真でより鮮明にバーチャル化できる。

このように子どもたちが考えた旅行プランで、楽しいバーチャル・トラベルができるとともに、地図帳のもつ楽しさや奥の深さがわかってくるだろう。これからも、ぜひ続けていきたい実践である。